



Topics ~循環器診療に役立つ、最新の話~

動脈グラフト？静脈グラフト？



文責 心臓血管外科 山中 将太

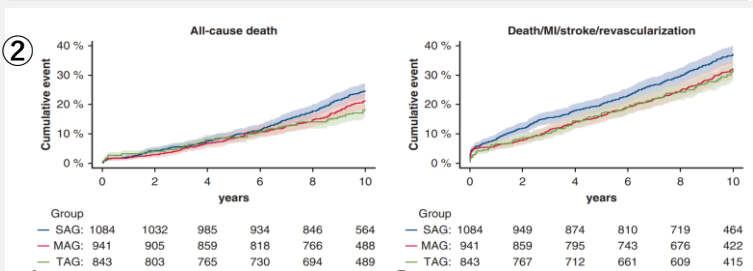
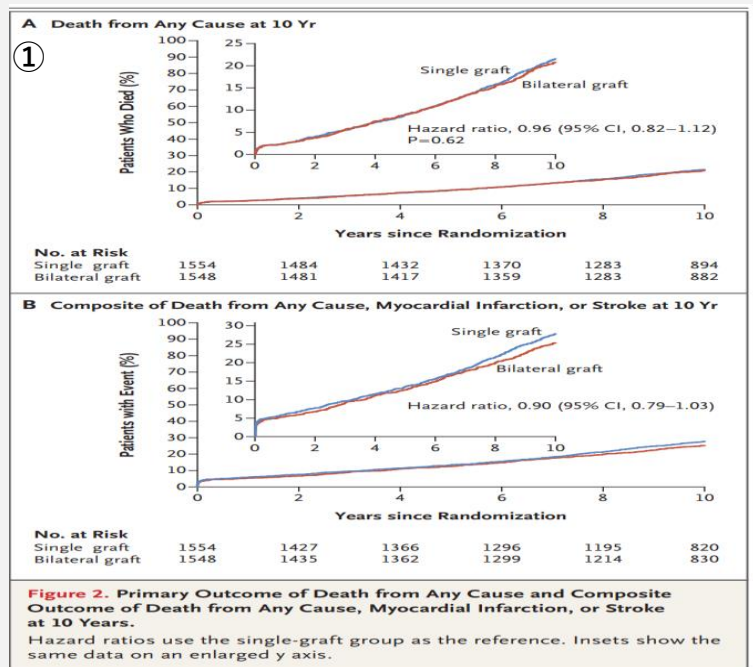
冠動脈バイパス手術における左内胸動脈（LITA）の長期開存・遠隔生存に対する有効性は疑う余地がありません。しかし両側内胸動脈を使用するかは議論され続けています。両側vs片側の内胸動脈のRandomized TrialであるART Trial 10年の報告①では、外科医の期待を裏切り両群間に差はありませんでした。様々なReviewが出ていますが、右内胸動脈の扱いに慣れていない施設が多く、しっかりと採取・吻合が出来ていなかった事（14%が両側⇒片側に変更）が大きな要因となっていたようです。つまり世界のStandardはLITA+大伏在静脈である事を決定づけたかのようにになりました。

しかしLITA+橈骨動脈をMultiple Arterial群（MAG）、全動脈血行再建を行ったTotal Arterial群（TAG）とLITA+大伏在静脈（SAG群）と比較したSub解析では、MAG群、TAG群が10年という遠隔期において遠隔生存・Composite outcome共に有意に良好な結果となりました②。つまり右内胸動脈、橈骨動脈、右胃大網動脈などの動脈グラフトは、使い方次第では遠隔成績に寄与する事が考えられます。

当院では両側内胸動脈の使用に慣れており積極的に使用しております。

① N Engl J Med 2019; 380:437-446

② JTCS.2022 Mar;163(3):1002-1009.e6.



スタッフ紹介 Vol.19



診療技術部長
放射線科 科長
圓川 勉

診療放射線技師
超音波技師
趣味：ギター、料理
クルマのレストア：65年前の車を
35年間修理しながら乗っています。

診療技術部

診療技術部は薬剤科、栄養科、臨床工学科、臨床検査科、放射線科、リハビリテーション科、医療秘書課の7部門で構成され、医師や看護師と協力しチーム医療を実践しています。患者さんの信頼を大切に、一人ひとりに最高水準の医療を提供することを使命としています。

過去のハートチーム通信はこちら →

